

「第3次栗東市子ども読書活動推進計画(案)」に対する
パブリックコメント結果について

【意見募集の概要】

- (1) 意見募集期間 令和2年1月20日(月)～2月19日(水)
- (2) 意見募集の周知 広報りっとう、市ホームページ
- (3) 閲覧場所 市のホームページ、情報公開コーナー(市役所1階)、各学区コミュニティセンター、生涯学習課窓口(栗東市学習支援センター)、
- (4) 意見の提出方法 郵送、持参、ファックス、Eメール

【意見募集の結果】

意見の概要と市の考え方は以下のとおりです。

提出件数2件(1名)

意見番号	項目	意見の概要	意見に対する市の対応と考え方
1	P14 【第3次計画での取組】 ア 蔵書の充実・利用しやすい環境の整備	図書の新規購入にあたり、「なぜこの本を購入し、どのように読んでもらいたいか」が伝わるようになってほしい。テーマ展示という形でも良いし、ただ流行しているからというのでも良いでしょう。限られた予算の中で、子どもの読書活動推進のために積極的にどのような本の購入を優先していくのかも既に検討されているのですが、それを計画書の中で示していくのも一つではないでしょうか。	購入した本を読んでほしい人に届けるための情報発信を行うことで、読書に対する意欲を高められると考えます。特にテーマ展示は、「子どもと本の出会いの場の提供」でも、継続して実施していくことを記載しており、効果的な実施に努めたいと考えております。いただいたご意見につきましても、施策の推進にあたり、参考とさせていただきます。 本の購入内容につきましては、社会情勢や出版状況など、流動的な要素の影響が大きいと見受けられます。原案のとおりとします。
2	P9 【第3次計画での取組】 ア 読書指導の充実	読書活動の充実を図ることは大切です。しかし、やらされて読書を朝の会や課題としてやるのは困難です。なぜ「読書をする」と良いのか? 「必要な情報はネットで十分探せるし、本なんて読まなくても良い」という指摘や質問に答えられるようにしていくのも大事だと感じました。その点も計画に反映されてはいかがでしょうか。	読書は、多くの語彙や多様な表現を通して様々な世界に触れ、これを疑似的に体験したり知識を獲得したりして、新たな考え方に出会うことを可能にするものです。また、言語能力を向上させる重要な活動の一つでもあります。その重要性を伝えることや、情報検索では得られない個人の感じ方を広げられるものであることは、学校でも伝えており、また P8【第2次計画での成果と課題】ア 読書指導の充実 でも記載させていただいてますが、学校では様々な取り組みを行っており、子どもたちに読書の重要性を理解してもらえよう、今後も続けてまいります。つきましては、計画の文書としては原案のとおりとさせていただきます。